

RACE REPORT



Round.03 / 07 **FUJI**

第3戦／第7戦 富士スピードウェイ

2026年7月19日（日）

第3戦／第7戦 決勝

第3戦 天候：曇り 路面：ドライ／第7戦 天候：曇り 路面：ドライ

#38 阪口 晴南

第3戦：リタイア 第7戦：11位

#39 大湯 都史樹

第3戦：6位 第7戦：7位

7月18日（土）に行われた第6戦では不安定なコンディションのなか、阪口晴南、大湯都史樹のふたりが入賞を果たしたものの、決勝ペースに課題を抱えた SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING。そんな課題解決を目指し、上位入賞を目指すべく7月19日（日）を迎えた。

この日は、4月に行われたオートポリスの第3戦雨天順延分の決勝レース、そして午後の第7戦の決勝レースと、2回の決勝が行われる多忙なスケジュール。さらなる順位アップを目指し、チーム、ドライバーとも前夜から入念に準備を進めていった。

Rd.3 RACE 第3戦決勝

7月19日(日) 10:05~10:56 天候:曇り 路面:ドライ
ベストタイム #38 阪口晴南 1'24.735 (15L) / #39 大湯都史樹 1'25.124 (16L)

第6戦が行われた7月18日(土)は夜半まで雨が降り続いていた富士スピードウェイだが、7月19日(日)は雨は止み、晴れ間も見える天候となった。第3戦の決勝スタート時となる午前10時05分は気温29度/路面温度34度というコンディションで、路面はほぼドライになっていたものの、わずかに濡れた部分も残っていた。

この第3戦は、4月26日(日)にオートポリスで開催予定だった一戦の雨天順延のレースで、周回数は25周、ピット義務なしのスプリントで争われた。また4月25日(土)に行われた公式予選のグリッドがそのまま採用されており、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは阪口が5番手、大湯が11番手からスタートを切った。

多くのファンがスタンドを埋めるなか、抜群のダッシュを決めたのは5番手スタートの阪口。アウトからポジションを上げ、一気に#6太田格之進に次ぐ2番手に浮上する。また11番手スタートの大湯も8番手に浮上。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの2台は、そろってポジションを上げてみせた。

一方で、ポールポジションスタートの#1岩佐歩夢らがGRコーナーで接触するアクシデントが発生し、レースはオープニングラップからセーフティカーランとなった。このセーフティカーは9周までコース上に留まり、10周目にいよいよリスタートを迎えた。

リスタート時、阪口は#6太田に合わせ加速するも、逆に3番手の#16野尻智紀、4番手の#65イゴール・オオムラ・フラガとストレートで並びかけられる。阪口はアウトから#6太田に並ぶも、イン側には#16野尻、#64オオムラ・フラガがおり、アウトにしか行き場がなくなってしまう。阪口と#6太田の2台はともにアウトにはらんでしまい、2台

にかわされてしまった。

ただその直後、レースは2回目のセーフティカーランとなった。#10 JUJUがストップしたため、15周目にこのセーフティカーは退去したが、阪口は順位を奪回すべく、前の#16野尻に仕掛けていった。

この攻防では阪口は順位を上げることはできなかったが、それでも#16野尻に仕掛けられる位置につけていた。しかし、表彰台争いを展開していた阪口にまさかの悲劇が襲った。ギヤが3速にスタックしてしまい、力なくスローダウン。ピットに戻ると、無念のレースを終えた。

SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGにとっては悔しい一戦となってしまったが、2回目のリスタート後、#37 サッシャ・フェネストラズをかわした大湯が6番手からさらに順位を上げるべくプッシュを続けた。

終盤、5番手の#5牧野任祐に詰め寄ったが、逆に後方から#37フェネストラズに最終周でかわされてしまった大湯は、最後は#6太田のタイムペナルティもあり6位となった。



Rd.7 RACE 第7戦決勝

7月19日(日) 16:20~17:25 天候:曇り 路面:ドライ
ベストタイム #38 阪口晴南 1'25.852 (28L) / #39 大湯都史樹 1'24.835 (15L)

第3戦から約4時間半というインターバルで迎えた第7戦の決勝レース。天候は曇り空で午前と変わらず、気温29度/路面温度36度というコンディションで迎えた。

SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは、第3戦でミッショントラブルに見舞われてしまった阪口車の修復、さらに大湯車の改善に取り組み午後3時35分からの決勝レースに臨んだ。

前日の公式予選では8番手につけていた阪口、12番手につけていた大湯はスタートに向け緊張感を高めていったが、ふたたびグリッドに並んだ時点で、まさかのスタートディレイとなってしまう。

大湯の隣のグリッドで、フォーメーションラップで前を走っていた#64 佐藤蓮の車両からオイルが漏れており、コース全周に渡って清掃作業が必要になってしまう。この作業には45分という長い時間を要し、午後4時20分、セーフティカー先導のもとようやくスタートが切られた。

セーフティカーは6周目に退去し熱戦が始まったが、阪口は#8 山下健太をかわし7番手にポジションアップ。また大湯は#14 福住仁嶺と競り合う間に#50 野村勇斗に先行を許すが、逆に11周目には#50 野村を豪快にオーバーテイクするなど、これまでの2戦よりも好レースを進めた。

11周を終え、ピットウィンドウがオープンすると、チームはまず大湯をピットに呼び戻す。ここで#22 松下信治を先行することに成功し、さらに14周を終えると序盤6番手を走っていた#1 岩佐歩夢の後方につけるなど、トップ争いには至らないまでも、順調にレースを進めていった。

一方、阪口は7番手からピットインを遅らせる作戦を採り、後方から迫る#8 山下を従えながらレース中盤を迎えていった。チームはピットインのタイミングをうかがいながら、

25周を終えてピットへ。迅速な作業で送り出した。

レースが終盤を迎えると、アンダーカット作戦を採った大湯がポジションを上げ7番手につける。一方、阪口は順位を落とし11番手。フレッシュなタイヤを活かし追い上げを目指したかったが、前を行く#7 小林可夢偉にはなかなか迫れず、33周目にペースが急激に落ちた#22 松下をパスしたものの、急速にポジションを回復するまでにはなかなか至らなかった。

終盤、7番手の大湯を先頭に#14 福住、#7 小林可夢偉、阪口と続くオーダーでレースが進んだが、40周目に#8 山下が阪口をパス。阪口は11番手となり、入賞には届かずそのままレースを終えることになった。

一方で大湯は、順位を守り7位でフィニッシュ。この3戦すべてでポイントを獲得することができた。変則的な3レース制で、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGはそれぞれに課題と収穫を得て週末を終えた。



COMMENTS ドライバー／監督コメント



38 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「第3戦についてはスタートも決まり、展開も恵まれ、クルマも乗りやすかったです。セーフティカー明けのリスタート後も、最善のバトルで表彰台を狙えるレースでしたが、残念ながらトラブルでどうすることもできませんでした。ハーフポイントのレースだったことを考え切り替えるしかないと思ってます。第7戦については、ピットイン後のペースがなかったのがすべてでした。本来前に近づくレースをしなければいけなかったのにそうはならず、苦しかったです。なぜあんなったのかを振り返らなければいけません。今日は悪循環でした。次のSUGOはこうはならないと思いますが、また富士でレースがあるので、しっかりと検証したいと思っています」



39 大湯 都史樹 TOSHIKI OYU

「第3戦はレース後半のペースは悪くなかったのですが、タイヤがフレッシュな前半でもっとできることがあったとも感じた一戦でした。終盤順位を落としましたが、牧野選手を抜こうとしたからこそだったので、仕方ない部分があります。精一杯やった結果でした。第7戦は作戦もうまくいった方だと思います。レースペースも最近の抱えていた厳しい状況に比べたら良かったですし、上位陣とも争ったなかでペースを保つことができたので、その点はすごくポジティブだったと思います。次のSUGOは予選がすごく大事だと思っています。相性は良いコースなので、予選がうまくいけばチャンスはあると思います。ただ課題も多いので、改善できるよう頑張ります」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「阪口選手は第3戦は悔しい一戦になりました。スタートからずっと良いレースをしてくれましたが、ギヤトラブルがありもったいなかったです。第7戦までにトラブルを解決してくれましたが、ペースもやや苦しく、タイヤ交換後も思ったより順位を上げられませんでした。一方で大湯選手は、第3戦、第7戦ともスタート位置から挽回してくれましたし、ピット作業も決めてくれました。できる限りのことができたと思っています。もちろん課題もあるのですが、大湯選手は今季なかなか良いレースができていなかった中で、コンスタントに週末を送れました。次戦は2台ともさらに上で戦えるように頑張っていきたいと思っています。応援ありがとうございました」



RACE REPORT

RESULT リザルト

第3戦富士スピードウェイ 決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	65	I. オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25		
2	16	野尻智紀	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	2.079	1.542
3	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	3.764	4.097
4	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	8.616	13.182
5	37	S. フェネストラズ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	9.303	21.704
6	39	大湯都史樹	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	10.265	25.062
7	28	小林利侑斗	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	11.809	26.579
8	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	(47'33.324 + 10sec)	26.842
9	64	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	14.462	32.419
10	3	L. ブラウニング	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	14.677	33.186
11	12	小出峻	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	15.363	33.244
12	7	小林可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	16.834	35.302
13	8	山下健太	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	17.615	36.008
14	50	野村勇斗	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	20.792	39.91
15	53	C. プルツ	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	22.361	40.243
16	19	Z. オサリバン	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	22.843	47.555
17	22	松下信治	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	25	25.556	48.332
18	9	野中誠太	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	26.960	53.105
19	14	福住仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	27.707	53.861
20	4	笹原右京	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	(47'55.596 + 10sec)	1'01.321
21	97	R. スタネック	ナビグル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD 01F	25	(47'43.787 + 30sec)	1'04.447
以上完走							
	38	阪口晴南	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	17	8Laps	1Lap
	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	9	16Laps	1Lap
	1	岩佐歩夢	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	0		1Lap

RACE REPORT

RESULT リザルト

第7戦富士スピードウェイ 決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'32.478	
2	65	I. オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'37.462	4.984
3	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'39.055	6.577
4	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:05'47.767	15.289
5	1	岩佐歩夢	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'52.033	19.555
6	16	野尻智紀	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:05'56.800	24.322
7	39	大湯都史樹	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:05'58.307	25.829
8	14	福住仁嶺	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:05'59.222	26.744
9	7	小林可夢偉	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'00.030	27.552
10	8	山下健太	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'00.713	28.235
11	38	阪口晴南	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'01.563	29.085
12	12	小出峻	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'02.055	29.577
13	37	S. フェネストラズ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'03.275	30.797
14	50	野村勇斗	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'04.372	31.894
15	19	Z. オサリバン	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'05.896	33.418
16	22	松下信治	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	41	1:06'08.910	36.432
17	3	L. ブラウニング	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'09.607	37.129
18	53	C. プルツ	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'21.409	48.931
19	97	R. スタネック	パ'フル Buzz MK SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'22.092	49.614
20	28	小林利徳斗	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'30.102	57.624
21	4	笹原右京	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	41	1:06'31.292	58.814
以上完走							
	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	33	1:06'54.966	8Laps
	9	G. アレジ	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	23	45'17.231	18Laps
	64	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		DNS	

ドライバーランキング (上位)

Rank.	No.	Driver	Total
1	6	太田格之進	95
2	1	岩佐歩夢	44.5
3	65	I. オオムラ・フラガ	39
4	14	福住仁嶺	38
5	5	牧野任祐	36
6	36	坪井翔	33
7	37	S. フェネストラズ	31.5
8	39	大湯都史樹	31
9	38	阪口晴南	27
10	19	Z. オサリバン	25

チームランキング (上位)

Rank.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	120
2	VANTELIN TEAM TOM'S	64.5
3	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	54
4	TEAM MUGEN AUTOBACS	48
5	PONOS NAKAJIMA RACING	47.5
6	NTT docomo Business ROOKIE	35
7	TEAM IMPUL	22
8	REALIZE KONDO RACING	19
9	DELIGHTWORKS RACING	16
10	ThreeBond Racing	11